

2008年度 第3回エネルギー・温暖化対策小委員会 議事録

日時 2009年1月15日(木) 14:00~15:00

場所 九段校舎6F 施設部打合せスペース

出席 (法政大学) 杉山、吉川、金子、須賀、堀内 (株HU) 小林、苅米

議題

(1) 説明・報告事項

- ・ 第二回エネルギー・温暖化対策小委員会議事録の確認
- ・ エネルギー使用量実績(2008年10~12月分)について
- ・ 環境展について

(2) 審議事項

- ・ エネルギー使用量の多い建物について
- ・ ウォームビズへの取り組み状況について
- ・ その他

議事

(1) エネルギー使用量の多い建物について

- ・ 新一口坂校舎、一口坂校舎、千代田ビル(市ヶ谷)
院生の利用拡大に伴い建物利用時間が増えている。目標値設定時の建物用途が変更しているのが要因と思われる。
- ・ 大教室A棟(多摩)
10、11月は地域に開放したイベントが複数回実施されたことが要因と思われる。
- ・ 小金井キャンパスでも建物ごとのエネルギー使用量は把握していますか?
→小金井キャンパスについてもデータで把握しています(HU)。
- ・ 小金井キャンパスで実験に使用する建物は、当然 m^2 当たりのエネルギー使用量が多い。将来、小金井キャンパスにもISOマネジメントシステムが適用される場合には、エネルギー使用量の目標値の検討は十分に必要がある。

(2) ウォームビズへの取り組み状況について

- ・ 設備面での取り組みは様々な手法を検討しているが、一つには照明のコントロールがある。利用時間や利用者数に応じて、教室や廊下の照明を消灯できないか検討している。消費電力は空調設備のほうが大きい、照明は365日使用するのでトータルでの節電効果は高いと考えている(HU)。
- ・ エアコン設定温度 $20^{\circ}C$ は、体感でかなり寒く感じる場合がある。着込んだり、湯たんぽを導入する等の対策を講じているが、なかなか決定打がないのが実情である。
- ・ 大教室等の天井の高い教室では、暖かい空気が上に回り冷たい空気が下に回るために、エアコン設定温度は実際には $22\sim 23^{\circ}C$ になっている(HU)。
- ・ エネルギー使用量に関する省エネニュースの発行は、3ヶ月に1回ではなく毎月発行でもいいと思う。

(3) その他

- ・ m^2 当たりのエネルギー使用量は市ヶ谷と多摩ではどちらが大きいですか?
→市ヶ谷>多摩 となっている。キャンパスの開構時間が異なる(市ヶ谷の方が長い)のが大きな要因である(HU)。
- ・ 各部局にエコ・マネージャーが選任されているが、ほとんど機能していないのが現状である。さらなる環境マネジメントシステムの推進という設置目的のためにも、職場でのリーダーシップを取ってもらうべく方策が必要である。
- ・ 市ヶ谷地区の定期環境監査は3月2日(月)に実施予定。
- ・ 次回(最終回)は、環境保全委員会と同日に実施予定。

以上